

# なかの 市議会だより

8月号

2022年(令和4年)  
8月5日発行  
No.69

発行 長野県中野市議会 編集 中野市議会だより編集委員会

●ホームページ <https://www.city.nakano.nagano.jp/> ●Eメール [gikai@city.nakano.nagano.jp](mailto:gikai@city.nakano.nagano.jp)

## 第4回

# 中野市消防団総合技術大会



小型ポンプ操法

●市政一般質問  
34件

事件案	5件	可決
予算案	1件	可決
条例案	2件	可決

●議案件数及び議決内容

会期	16日間
閉会	6月17日
開会	6月2日

6月定例会



松野 繁男

中野市国土強靱化地域計画について

質問 計画策定の目的は。

答弁 過去の災害から得られた教訓等を踏まえ、最悪の事態を迎えることがないような日常の環境づくりを旨とし、市民の生命・財産・生活をより高いレベルで守るため、効果的に事業を実施することとしている。

質問 計画の期間と事業の進め方は。

答弁 計画期間を令和3年度から令和7年度までの5か年とする。進め方については、備えるべき目標の各種事業について、国の交付金・補助金を活用するなどして実施している。

質問 本沢川の整備等の状況は。

答弁 地域づくり対策委員会から出された要望書を県に通達してあり、市としても抜本的な整備が早期に実現できるように引き続き要望していく。

増え続ける書状被害について

質問 鹿、カモシカの被害が増えているが、被害の把握と今後の対策は。

答弁 職員による現地確認やJAからの報告で把握している。対策については、電気柵等の新規設置は、地元との合意、維持管理が不可欠である

ため、合意が得られれば検討する。また、農家を対象に県との共催で防止対策の学習会を開催している。

下水道管理設置所の路面補修について

質問 国道117号の下水道管理設置所は、経年劣化と交通量の増加で騒音・振動による苦情が多い。その対策は。

答弁 苦情を受け、その都度、舗装の修繕等を行い、対応している。

質問 現地調査や今後の対応は。

答弁 現地調査は地元区からの要望があれば対応する。また、日ごろのパトロールや住民の声を聞く機会を設けるなど、迅速かつ適切な維持管理に努めていく。

公共施設の除排雪について

質問 今冬の大雪時には保育所で雪下ろし等除排雪ができず、保護者から心配の声があった。今後のために

答弁 保育所運営に支障がないよう、早期の除排雪に努める。状況によっては追加の予算措置を行い、適切な運営に努めていく。

質問 学校の対応は。

答弁 必要な予算措置について、通学路の安全確保を含め学校生活に不便が生じないよう、しっかりと対応していきたい。



塚田 一夫

市民祭について

質問 中野シヨンシヨンまつりが3年続けての中止となったが、中止決定までの経過はどうだったのか。

答弁 4月26日に開催された中野シヨンシヨンまつり推進会の総会において、新型コロナウイルス感染拡大防止および収束の見通しが立たない中での感染症対策の徹底が難しいことから、開催の中止が決定された。

質問 ウィズコロナに向けた市民祭のあり方をどう考えるか。

答弁 中野シヨンシヨンまつりは市民総参加、総和楽を目的とした祭りであることから、市民の安全を最優先に、十分な感染症対策を講じるなどして、来年度以降は、ぜひ開催できるように取り組んでいきたい。

一本木公園駐車場整備事業について

質問 市街地活性化につなげるためにどのような構想を持っているのか。

答弁 来年度には、新市民会館のオープンや信州中野駅前へのホテルの開業、(仮称)笠倉壁田橋の完成が予定されることなどから、周辺施設等と連携することで、さらなる活性化につなげたい。また、本年1月に北信総合病院エリアまちづくり基本構想を策定したほか、将来を見据えた持続可能な市街地形成に向け、策定中の都市計画マスタープランや立地適正化計画にも一本木公園等さまざまな施設をしっかりと位置付け、まちづくりを進める。さらに整備する駐車場が効果を活かし、市街地がより活性化するように、市が中心となり市民を含め、関係団体等と協議する機会を早急に設けたいと考えている。

質問 駐車場整備により、北公園利用者の駐車場不足は解消できるのか。

答弁 市民体育館や市営野球場などの利用状況から推計すると、参加者が200人を超える大会では、一本木公園駐車場を活用することにより、年間3千200台から4千800台程度は駐車場不足の解消が図られるものと考えている。

駅前ホテルを活かしたまちづくりについて

質問 新市民会館をはじめ、北信総合病院や飲食店等との連携を図るための組織を設置してはどうか。

答弁 駅前にホテルが建設されることは、駅周辺および市街地全体のまちづくりに大きなインパクトがあるものと捉えており、市民や商業者をはじめ、さまざまな関係団体等と連携することが重要であり、必要に応じて組織の設置を検討していく。



松樹 純子

高校再編について

**質問** 中野立志館高校、中野西高校の2高校の再編統合で設立予定の中野総合学科新校への期待は。

**答弁** 急激な人口の減少が進む中、一定規模の生徒が集い、切磋琢磨しながら互いに刺激し合い、つながら高め合う環境が確保されるとともに、多様な学習プログラムの選択が可能となる。個性溢れる生徒が集まる学びの場として生まれ変わるものと受け止め、大いに期待している。

**質問** 再編については、市民の心配の声も含めて県教育委員会へ伝えてほしいが、いかがか。

**答弁** いろいろな場面で、耳を傾けながら市民の声を聞いていきたい。

子育て支援について

**質問** 旧長丘小学校の子育て機能を備えた施設の最適候補者が決まったが、予定している自主事業は何か。

**答弁** 企画提案書ではインターナショナル保育施設運営の提案がある。

**質問** インターナショナル保育施設をこの施設に入れることには問題点がある。今後自主事業の内容を検討、

変更の余地があると考えてよいか。  
**答弁** 具体的な提案を待っている状態である。

**質問** 3歳以上児は保育所へ主食のご飯を持参している。保育所の給食で主食も提供してはどうか。

**答弁** 炊飯には道具等や調理員の増員、保育士の負担増など課題が多い。

**質問** 有料で提供するとすれば、保護者負担はどのくらいになるのか。

**答弁** 全国的には、千円から2千円という自治体もあると聞いている。

**質問** 保育所給食の食材の調達方法とその考え方は。

**答弁** 地元の新鮮な農作物を含めた食材を、市内業者からできるだけ多く調達している。

**質問** 子どもたちの健康のために、給食に無農薬野菜を使ってほしいという市民の声があるが、いかがか。

**答弁** 基本は、地元食材の調達を大切にし、課題として考えていきたい。

**質問** 紙おむつの取り扱い。

**答弁** 使用済みの紙おむつは、保護者に持ち帰ってもらうている。

**質問** 保護者負担も保育士の負担も軽減され、衛生的にもよいので、保育所での廃棄に変えてはどうかか。  
**答弁** 今後、課題を整理したうえで、保護者の負担軽減について、検討していきたい。

その他の質問

・団体事務における不適切な事務処理について



笠原 豊

乳幼児等医療費給付事業について

**質問** 令和4年4月から長野県による乳幼児等の通院に係る補助が小学3年生までに拡大したが、昨年度と比較した市への補助金額の増加見込み額は。

**答弁** 年額で770万円程度の増加を見込んでいます。

**質問** 窓口無料化を高校3年生まで拡大した場合に、市が負担する1年間の見込み額は。

**答弁** 高校3年生までの拡大による負担増加見込み額1千700万円から県の小学3年生までの補助対象拡大による補助金増加額770万円を差し引き、930万円程度の増加と見込んでいます。

**質問** 対象範囲を早期に高校3年生まで拡大していただきたいが、その考えは。

**答弁** 財源確保、医療機関等との調整、システム改修等の課題があるが、子育て支援の充実等を含めて検討していく。

奨学金返還支援制度について

**質問** 人口減少対策、人材確保、子育て応援、少子化対策として、中野

市にUIJターン就職をした人に奨学金の返還金の一部を支援する制度を導入してはどうか。

**答弁** 人口減少対策、人材確保、子育て応援、少子化対策のために奨学金返還支援制度の導入については、限られた財源の中で、市政のどの分野にどう財源配分を行うことが最大の効果をもたらすのか、また、支援制度を導入した際に、どの程度の効果が期待できるかを示すことが困難であることから、効果の検証が最大の課題である。すでに制度を導入している他の市町村の状況などを確認するとともに、効果の検証や支援制度の内容、導入の可否などについて、今後検討していく。

**質問** 奨学金返還支援制度に対する教育的観点はどうか。

**答弁** 教育基本法第4条の「教育の機会均等」を保障するため、経済的理由により修学が困難な方に対し支援を行うものであり、重要な教育施策の一つであると考えている。

**質問** 民間企業型の奨学金返還支援制度の導入促進をしてはどうか。

**答弁** 企業の人手不足の解消や優秀な人材の確保、また、企業の魅力向上につながるため、県が実施を予定している支援制度も含め、市内企業へ周知を図っていききたいと考えている。



小林 忠一

市の企画政策について

**質問** 政策検討における他の部署との協議の実態はどうなっているのか。

**答弁** 市長、副市長、教育長および各部長等による会議、各部長等による総合調整会議を随時行い、各政策等の調整・検討を行っている。

**質問** 政策案件によっては、一つの部署によるソフト・ハード両面の検討は限度があるのではないか。

**答弁** ソフト事業は、基本的な対応方針を決定するなど、庁内での横断的な調整が大切であり、現在開催している庁内会議において、より一層の協議または連絡・調整を図っていく。また、これまでの政策実施における実績・評価等を十分に踏まえ、関係部署の担当者による庁内ワークショップなどをこれまで以上に細かく行い、事業内容によっては、部署や課といった垣根を越えて検討ができる体制づくりを進めていく。

**質問** 総合調整会議が有効に働いているというが、若干調整不足の案件があるように感じたため、総合調整会議を有効に活用してほしい。総合調整会議は必要な都度と思うが、部長会議は週何回開くのか。

**答弁** 部長会議が総合調整会議であって、定例的なものは隔週で月に2回行っている。ただし、必要な案件は、その都度行っている。

**質問** 行政はみんなで問題意識や案件を共有して進めることが、市民に対して有効なサービス、周知、PRになると思う。民間は課会などというものがあるが、職員にも周知できる方法について何か考えているか。

**答弁** 総合調整会議も、中身によっては確定する前に情報を公にすることは難しい部分もある。また、内容については、全て理事者に報告し、承知をいただいているというように形で運営しているため、理解いただきたい。

**質問** 長野県19市中、企画政策を担務する室・部を中心の柱に設置する市が13市ある。政府組織に呼応し、また、県内の市に倣い、企画政策を行政の中心に据えた組織に改革してどうか。

**答弁** 企画・政策担当の独立部署の必要性は、少子高齢化、人口減少など社会情勢が大きく変化する中においても、さまざまな行政ニーズに効果的かつ的確に対応するため、随時組織の在り方を検討する中で、今年度、政策情報課と財政課を統合し、新たに企画財政課を設けるなど、新たな組織体制をしたところであり、現時点では、企画・政策担当部署を独立して設けることは考えていない。



中村 明文

志賀中野有料道路の無料化について

**質問** 志賀中野有料道路の無料化の時期の見通しはどうか。

**答弁** 無料化の時期については、令和7年3月中を目途に予定しているとのことである。

**質問** 江部交差点の混雑解消に向けた県に対する無料化の働き掛けが必要だと思うがどうか。

**答弁** 当該交差点における、朝の通勤時間帯の混雑、渋滞の状況は、有料道路の無料化により解消につながるものと認識しており、毎年実施している中野市土木事業要望会において、県に対し早期の無料化を要望している。なお、県は無料化の時期の前倒しの予定はないとの回答である。無料化となる時間の延長については、無料化の前倒しと合わせて、今後、県へ要望していく。

SDGsの取り組みについて

**質問** 取り組みの進捗状況は。

**答弁** 進捗状況は、第2次総合計画後期基本計画を策定し、取り組んでいる。中学校でSDGsの授業が行われた際には、市職員が講師となっ

て、学習を通じて地域の課題などを考えるきっかけづくりを行った。

**質問** 今後の取り組みはどうか。

**答弁** 今後は、基本計画に基づき、今年度策定を予定している「都市計画マスタープラン」のほか、あらゆる計画や事業等においてSDGsの理念をしっかりと反映させ、施策の推進に取り組んでいきたい。

パートナーシップ制度について

**質問** 中野市における制度導入に向けた研究の現在の状況はどうか。

**答弁** 県内でも導入する自治体が増えてきており、社会や生活様式が多様化していることなども考慮しながら、引き続き、国や他の自治体の動向を注視しながら研究をしていきたい。なお、これまで具体的な相談や問い合わせがないことから、現時点では直ちに同制度を導入することは考えていない。

市の財政について

**質問** 令和3年度の決算見通しは。

**答弁** 予算計上どおりの事業執行に十分な収入を確保でき、黒字決算となる見込みである。

**質問** 地方交付税およびふるさと寄附金の歳入見通しは。

**答弁** 地方交付税は59億481万円余、ふるさと寄附金は13億6千892万円余である。



高木 尚史

団体事務における不適切な事務処理について

**質問** 中野市きのこ・果実消費拡大実行委員会の事務局を担当していた元市職員が不適切な事務処理の結果、契約相手側に金銭的損害を与えたことが発覚した経緯、調査の経緯と公表までの経過はどうか。

**答弁** 令和2年3月24日、相手事業者から一部未払い金1千763万円余の連絡があり発覚した。元市職員、当時の上司および事業者に対して調査を実施したが確認に多大な時間を要したため、本年5月の公表となった。  
**質問** 元市職員は発覚後1年間在職していたが調査はどのような内容か。  
**答弁** 契約等の書類がなく、相手方を含め事業内容の確認を行っていた。  
**質問** 請求の具体的内容を明らかにしないと納得できないのではないか。  
**答弁** 請求は業務に関して一式となっているため、事業がどのように行われたか、成果がどうだったのか重点的に調査した。  
**質問** 市の財務規則による契約の書類作成等がないなど、部内の精査がされていないのではないか。  
**答弁** 団体事務ということで、当時

の上司も目が届かなかった。  
**質問** 国家賠償法第1条による職員の与えた損害は「市が賠償する責に任ずる」とあり理解するが、約1千763万円の請求を精査すべきでは。  
**答弁** 市の顧問弁護士から市が負うことが妥当との助言を受けた。

**質問** 国家賠償法第1条第2項による根拠は何か。  
**答弁** 和解交渉により求償額が見込まれ、市の顧問弁護士から妥当との助言を受けた。

一本木公園駐車場整備事業について

**質問** 令和5年度の実施計画を前倒しで提案した根拠は何か。

**答弁** 市内27団体と1千863名の署名をいただき、駐車場整備に対する市民ニーズが高まっていると判断した。  
**質問** 昨年12月定例会以後、丁寧な説明の経緯はどうだったか。

**答弁** 5月11日の議会全員協議会と24日の経済建設委員会協議会で、事業概要などの説明をした。

**質問** 整備の積算根拠と水利施設の管理者との調整は。また、近隣住民に対する説明と要望への対応は。

**答弁** 計画地は透水性に優れた地質であり、雨水等を地下浸透させる砕石仕上げとして設計。整備に際し影響がある水利施設の管理者と協議していく。また、地元説明会で意見を聞くなど必要な対応をしていきたい。



芦澤 孝幸

英語教育について

**質問** 英語検定料助成事業の申請者数の推移は。

**答弁** 過去5年間の申請者数は、平成29年度が144人、平成30年度が153人、令和元年度が141人、令和2年度が135人、令和3年度が148人である。

**質問** 英語検定料助成事業の目的と、令和4年度から廃止となった理由は。

**答弁** 市内中学生の英語力および学習意欲の向上を図ることを目的に、受験料の2分の1を助成したものである。過去の状況では、前年度に引き続き受験する生徒が多いなど、助成を受ける方が限定的になってしまふなどの課題もみられることから、助成事業を廃止した。

**質問** 今後の助成への考えは。  
**答弁** 考えていない。

水道事業について

**質問** 漏水が原因による水道料金の軽減制度の申請状況は。

**答弁** 家庭用水道の過去3年間の水道料金の軽減申請者件数は、令和元年度が116件、令和2年度が116件、令和3年度が93件である。

**質問** 漏水の主な原因は。  
**答弁** 給水装置の老朽化が原因であると考えられる。  
**質問** 給水装置の漏水修理費は、全額個人負担であるが、修理費助成への考えはどうか。

**答弁** 漏水に伴う給水装置の修理費負担は、市が費用を助成した場合、独立採算制による現在の水道事業の仕組みから、助成費用を水道料金に転嫁せざるを得ないことから、考えていない。

地域コミュニティについて

**質問** 市内の子ども食堂の現状と市の支援状況はどうか。

**答弁** 現在、市内に8団体あり、毎日実施している団体のほか、週1回、月1回、隔月に1回実施している団体がある。市の支援状況は、公式ホームページなどでの情報発信、また、会場や食材、資金確保など、関係機関との調整や協力要請を行っている。  
**質問** 継続するための課題と支援拡大に対する考えはどうか。

**答弁** 開催日時などの周知、資金、食材、スタッフ、会場の確保や地域住民との連携などが課題として考えられる。市としての支援拡大に対する考えは、活動が継続してできるよう、引き続き、支援および連携するとともに、実施団体などと情報交換を行い、必要な支援について研究していきたい。



阿部光則

団体事務における不適切な事務処理について

**質問** 中野市きのこ・果実消費拡大実行委員会の設立から解散までの経過と未払い金発生の経過はどうか。

**答弁** 平成19年度に設立され、本市の主力農産物の認知度向上と販路拡大を目的とした事業を実施してきたが、コロナ禍によりイベント等の縮小などから今の社会情勢にそぐわなくなり、令和3年度をもって解散した。未払い金の発生経過は、平成26年度274万円余、平成27年度31万円余、平成28年度100万円、平成29年度81万円余、平成30年度517万円余となり合計1千763万円余となる。

**質問** 調査により明らかになった点および説明できなかった点はどうか。

**答弁** 相手事業者から損害賠償請求のあった事業は、適正に実施されていた。説明できていない点はない。

**質問** 事業者に平成26年度は、実行委員会の決算額を大きく超えて支払われているがなぜか。

**答弁** 一つの事業の中で、売れる農業推進室で賄う部分と実行委員会で購入部分があり、担当者が実行委員会の予算の範囲内で請求書の提出を

させて支払いをしていた。

**質問** 大幅に予算を超えて事業を実施して未払い金が残ったこの事実をしつかり反省し、今後の市政運営に教訓として生かすこと、詳細を市民に知らせる必要があると考えるがどうか。

**答弁** 案件すべて終了後に、市民の皆さんに丁寧に説明をする。

第6次学校図書館図書整備等5か年計画について

**質問** 改めて学校図書館の重要性を認識している。文部科学省は「第6次学校図書館図書整備等5か年計画」を策定したが、市内小・中学校の図書館の状況と計画への対応はどうか。

**答弁** 学校図書館は、学校の中でも非常に大事な役割を果たしている。現行の学習指導要領でも学びの基盤として大事にされている。文部科学省が定める「学校図書館図書標準」の蔵書冊数は全ての小・中学校で達成しており、それぞれの学校で実情に応じた図書の実装を実施している。計画は、今年度から令和8年度までを対象期間とし、各小・中学校の要望を踏まえ、計画的に学校図書館の整備に取り組んでいく。

その他の質問

- ・子育て支援について
- ・インボイス（適格請求書）制度について



渡辺菊男

乳幼児等の福祉医療費について

**質問** 現在の実施状況はどのようになっているか。また、県からの補助金はどうなっているか。

**答弁** 受給者には1レセプト当たり上限500円をご負担いただき、中学卒業までの医療費等および入院時の食費の2分の1を給付している。また、県からの補助金は、中学卒業までの入院に係る医療費給付費と未就学児までの外来に係る医療費等給付費に對する2分の1の補助である。

**質問** 県内の他市町村の実施状況はどうか。

**答弁** 外来と入院共に中学卒業まで対象としている市は7市、入院を18歳まで対象としている市は2市、外来と入院共に18歳まで対象としているのは67市町村である。

**質問** 給付事業対象年齢を18歳まで拡大してはどうか。また、拡大に伴う人数と費用はどうか。その財源確保のため、県へ補助の拡大を要望してはどうか。

**答弁** 対象年齢の拡大については、財源の確保、子育て支援の充実等を含めて検討していく。18歳まで拡大した場合の拡大対象人数は1千40人

程度で、費用は年間930万円程度の増加見込みである。また、県には補助対象の拡大について要望していきたい。

公共交通対策について

**質問** ふれあいバスの利用状況と課題は何か。

**答弁** 令和3年度利用者数は、倭・科野地区は2千738人、日野地区は5千829人、豊田地域は768人である。また、課題は、現在の運行状況を維持していくため、あらゆる施策を講じているが、利用者増に結びついていない。

**質問** 道路交通法の改正により、75歳以上の交通弱者への対応はどうなっているか。

**答弁** 高齢運転者の運転免許証更新時の技能検査が義務化され、更新ができない場合には、生活に支障が出るものと考えられるため、自主返納の推進とあわせて対応を検討していく。

**質問** ふれあいバスの今後の具体的な取り組みはあるか。

**答弁** ふれあいバスをはじめ、全ての公共交通の維持・継続を最優先し、市民の意見を聞きながら、中野市地域公共交通対策協議会において、運行ルートや料金などの検討を行い、見直しを図っていききたい。

- その他の質問
- ・観光振興について



中村 秀人

防災・減災について

質問 ハザードマップへの関心を高める工夫は。

答弁 減災に大きな効果があるため、小・中学校での防災教育や出前講座、防災訓練等、機会を捉えて、住民一人一人の防災行動計画（マイタイムライン）の普及とともに、さまざまな工夫をしながら関心をもってもらえるよう取り組んでいく。

質問 流域治水の取り組み内容は。

答弁 市道への浸透枿の設置のほか、住宅、工場、事務所および店舗に対し雨水貯留施設への補助等を実施し、篠井川から千曲川への雨水流出抑制に努めている。

質問 ドローンを活用してはどうか。  
 答弁 国は、消防本部における災害対応ドローンの活用を推進しており、現在、岳南広域消防組合において、導入に向けた検討を行っている。市としても災害時における情報共有を図っていききたい。

中野市バイオマス産業都市構想について

質問 使用済みきのこと培地バイオガ

ス化プロジェクトを取り巻く情勢は。  
 答弁 昨年度、国の食料産業・6次産業化推進交付金を活用し、プラント建設に係る許認可等の調整を行ってきたが、先月、事業者から資材の高騰等により、事業性確保の見通しが立たないことから、バイオガス発電事業を中止する旨の報告を受けた。

質問 プロジェクト変更の考えは。  
 答弁 現時点で考えていない。新たに参画を希望する事業者から事業内容の提案があり、実現可能性が認められる場合や令和6年度末予定の間評価が必要な手続きを行っていく。

猫の多頭飼育問題について

質問 野良猫を増やさないためにどのような啓発活動を行っているか。  
 答弁 室内飼いを基本とすることや、避妊・去勢を適正に実施すること、野良猫に対しては絶対に餌を与えないなど、飼いや正しい関わり方などを、広報なかのや公式ホームページ、チラシ等により周知している。

質問 避妊・去勢手術への支援は。  
 答弁 長野県動物愛護会北信濃支部が助成制度を設けていることから、市では新たな支援は考えていない。

質問 野良猫トラブル解消のための地域猫活動を推進しては。  
 答弁 県が推進しているこの活動は、地域住民など多くの方々の理解と行動により実現するものであり、市としても周知や啓発等を行っていく。

質問 野良猫トラブル解消のための地域猫活動を推進しては。  
 答弁 県が推進しているこの活動は、地域住民など多くの方々の理解と行動により実現するものであり、市としても周知や啓発等を行っていく。



宇塚 千晶

公共交通の活性化について

質問 福祉施策のシルバー乗車券や在宅福祉支援事業は、利用不便地域と市街地で、交通費に大きな差があるとの声がある。公平性はどうか。  
 答弁 高齢者の身体状況・経済状況により実施しているため、一定の公平性は保たれていると考える。

質問 お年寄りになっても、積極的に出かけて心身が弱らないようにすること、車に頼らないで生活できる社会の実現等の観点から、福祉施策と公共交通施策はより密接な連携を図る必要がある。お年寄りなどは、荷物を持ち停留所まで行くことが困難なケースがある。対象者は一乗車定額とすれば運賃の公平性が確保できる。また事業者支援にもなるよう、お出かけタクシーの運行エリアを拡大し、利用者の指定した時間と場所に送迎するデマンド型乗り合い交通等として充実させてはどうか。  
 答弁 交通弱者対策として有益であることから、運行エリアの見直しなど、利便性向上のため研究していく。

質問 高校生の通学定期券費補助は、他市で行っているが、本市においても実施してはどうか。  
 答弁 保護者が送迎している生徒の公共交通利用につながるが、大きく利用者が増えるとは考えられず、財源も含め、費用対効果にも問題がある。しかし、今後、高校再編が進み、遠距離通学する生徒が増えることも想定され、保護者の負担軽減などを県等と検討する必要があると考える。

質問 最新の人口動態統計で肺炎は死因の第5位であった。高齢者肺炎球菌ワクチン定期接種の自己負担額は、5千円から7千円と高額になる。軽減についての考えは。  
 答弁 本市では3千円の軽減措置を行っているが、任意接種への助成の在り方も含め、自己負担額の軽減については検討が必要と考える。

質問 子どものインフルエンザワクチン予防接種について、受験を控えた高校3年生にも必要である。また、12歳以下は2回接種となり、経済的負担が大きい。対象年齢や助成額拡大についての考えは。  
 答弁 現在のところ考えていない。

質問 おたふくかぜは罹患した場合治療薬がなく、合併症として難聴や精巣炎等のリスクがあり、日本小児科学会がワクチン接種を推奨している。接種費用助成についての考えは。  
 答弁 国でも定期接種化を検討しているため、その動向を注視するとともに助成についても検討していく。

## 総務文教委員会報告

総務文教委員会に付託された条例案2件、予算案1件について、6月14日に審査しました。

主なものとして、予算案では、令和4年度中野市一般会計補正予算(第3号)について、補正総額5億2千773万5千円を追加し、補正後の予算総額は264億23万5千円とするものです。歳出のうち経済建設委員会所管の土木費で、一本木公園に新たな駐車場を整備するための公園緑地維持整備事業費5千815万円の皆増について、駐車場を長期間利用できるような整備をするべきである。また、北公園の体育施設を管理運営している中野市体育協会のスポーツ関連の方も多く利用されるため、一本木公園の駐車場ではなく、共同駐車場等として再試算し、正確な金額を求めるとして再説明を行うために、本委員会所管の歳入のうち事業費の一般財源分を19款繰入金金の財政調整基金繰入金に繰り入れ、22款市債の地域活性化事業債を全額減額、地方債補正は現行のままとする修正案が提出されました。審査の結果、修正案は否決となり、原案どおり可決されました。そのほかの条例案2件については、原案どおり可決されました。

## 民生環境委員会報告

民生環境委員会に付託された予算案1件について、6月14日に審査しました。

主なものとして、令和4年度中野市一般会計補正予算(第3号)について、総務費では、戸籍住民基本台帳事務費でマイナンバーカード交付に係る消耗品費36万9千円の増額、民生費では、臨時特別給付金給付事業費で臨時特別給付金4千100万円の皆増、子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費(ひとり親世帯分)で子育て世帯生活支援特別給付金および中野市子育て世帯生活支援特別給付金3千850万円の皆増、子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費(その他低所得の子育て世帯分)で子育て世帯生活支援特別給付金および中野市子育て世帯生活支援特別給付金2千800万円の皆増、衛生費では、新型コロナウイルスワクチン接種事業費で4回目のワクチン接種に係る健康管理システム改修、予防接種等委託料5千555万3千円の増額などであり、原案どおり可決されました。

## 経済建設委員会報告

経済建設委員会に付託された予算案1件、事件案5件について、6月14日に審査しました。

主なものとして、予算案では、令和4年度中野市一般会計補正予算(第3号)について、農林水産業費では、未払いに係る損害賠償金を支払うため、売れる農業推進事業費1千764万円の皆増、土木費では、一本木公園の近隣に、新たに用地を取得して駐車場を整備するため、公園緑地維持整備事業費5千815万円の皆増などであり、原案どおり可決されました。

事件案では、未払金に係る和解および損害賠償の額について、元市職員が事務局を務めていた中野市きのこ・果実消費拡大実行委員会における不適切な事務処理により、相手方に未払いによる損害を与えたことについて和解し、損害賠償の額を決定するものであり、原案どおり可決されました。

求償に係る和解について、中野市きのこ・果実消費拡大実行委員会における不適切な事務処理により、市が負う損害賠償の一部を相手方へ求償することについて和解するものであり、原案どおり可決されました。そのほかの事件案3件については、原案どおり可決されました。



市議会を  
傍聴しませんか



手話通訳申請  
ながの電子申請サービス

本会議は、自由に傍聴いただくことができます。  
市政を知る良い機会ですので、是非、お出かけください。  
聴覚に障がいのある方には、手話通訳者を配置いたします。  
ご希望の方は、ながの電子申請サービスまたは事前に議会事務局までご連絡をお願いいたします。  
音声の聞き取りづらい方には、専用の音声受信機の貸出しをいたしますので、傍聴にお越しの際に、議会事務局までお申し出ください。

傍聴等に関するお問い合わせ先

電話 (22) 2111 (内線316) FAX (22) 5922

Eメール gikai@city.nakano.nagano.jp



## 6月定例会の審議結果

議案番号	件名	審議結果
議案第1号	中野市市税条例の一部を改正する条例案	可決
議案第2号	中野市都市計画税条例の一部を改正する条例案	可決
議案第3号	令和4年度中野市一般会計補正予算（第3号）	可決
議案第4号	財産（除雪ドーザ）の取得について	可決
議案第5号	未払金に係る和解及び損害賠償の額について	可決
議案第6号	求償に係る和解について	可決
議案第7号	市道路線の廃止について	可決
議案第8号	市道路線の認定について	可決



その他

1件

可決

1件

可決

1件

許可

2件

選任

5件

選挙

3件

同意

1件

可決

1件

可決

2件

承認

3件

承認

○議案件数および議決結果

○会期 5月2日 1日間

5月臨時会結果

### 議会インターネット録画中継

市議会では、本会議のインターネット録画中継を行っています。  
インターネット録画中継は、パソコンのほかタブレットやスマートフォンで、いつでも本会議の様態を視聴することができます。  
是非、ご覧ください。

#### 視聴方法

中野市議会ホームページから「中野市議会中継」にアクセス  
中野市議会ホームページ

<https://www.city.nakano.nagano.jp/categories/shigikai/>

#### 配信している議会中継

平成30年5月市議会臨時会分～

#### 配信時期

定例会・臨時会の本会議終了後、約1週間後に配信します。



表紙の写真

3年ぶりの開催

6月12日、長野県北信合同庁舎において、第4回中野市消防団総合技術大会が開催されました。

この大会は、平成29年度から「中野市消防団ポンプ操法大会・ラッパ吹奏大会」で行われてきた基本訓練に加え、近年、頻発する大規模災害および複雑多様化する各種災害に対応するために、各種応用訓練を取り入れ、名称も新たに開催されました。



開会式（選手宣誓）

令和2年度、3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い大会中止となっており、今回は3年ぶりの開催となりました。

新型コロナウイルス感染症予防の観点から規模が縮小され、訓練はポンプ車操法、小型ポンプ操法のみとされましたが、消防団員の方々は、日頃の訓練成果をいかに発揮されていました。

（写真提供 中野市広報）



ポンプ車操法

令和4年9月中野市議会  
定例会会期日程（予定）

○開会日 9月1日（木曜日）  
○市政一般質問 9月8日（木曜日）  
9月9日（金曜日）

○委員会 9月12日（月曜日）  
9月13日（火曜日）  
9月14日（水曜日）  
9月15日（木曜日）  
9月16日（金曜日）

○閉会日 9月20日（火曜日）  
9月26日（月曜日）

○請願・陳情について 9月15日（月曜日）

9月定例会における請願書および陳情書の受付は、8月15日（月曜日）の午後5時までです。  
※他の行事等により日程を変更する場合があります。

第6代前期  
議会だより編集委員名簿

（順不同）

委員長	松樹 純子
副委員長	芦澤 孝幸
委員	渡辺 菊男
江口 栄光	本田 将伸
中村 明文	中村 秀人
中村 秀人	塚田 一夫
松野 繁男	松川 吉孝
芋川 吉孝	

あとがき

開会後すぐに梅雨入りとなった令和4年6月中野市議会定例会は、4月の市議会議員選挙後、第6代として、議員の顔ぶれも構成も一新して初めて行われました。

選挙により議会への関心が高まったのか、本会議の傍聴者は107人を数え、3月定例会の時より30人以上も増え、委員会の傍聴もありました。

新型コロナウイルス感染症拡大も落ち着き、または議案に対する関心の高まりなどもあったかもしれませんが、傍聴者が多いと、議員の気持ちも自ずと引き締まります。

傍聴は市民の皆様には議会への関心を持っていただけるよい機会であり、面倒な手続きは一切ありません。

ぜひ定例会が開会しましたら、議会の傍聴にお出かけください。

